

春の寄せ植え教室開催

春らしい日差しの強まりを感じ始めた3月16日(水)の午後、令和3年度の最後の教室として「春の寄せ植え教室」を開催しました。

今年も、公民館西側の鮎沢さんの駐車場をお借りし、南園芸さんに花苗の手配とご指導をお願いして実施しました。

風もなく春らしい陽気の中で、館長・主事を含めた17名の参加者は、みな楽しいひとときを過ごしなが、見事な寄せ植えを仕上げていきました。



参加者は、南園芸さんが用意してくれた丸鉢、培養土や花苗を受け取り、南さんから植え方のポイントを指導していただき、こつを理解して、各自が寄せ植えに取り組みました。

寄せ植え完成後の集合写真

寄せ植えのポイントを説明する南さん

作業の途中で、指導者の南さんが参加者の植え付け状況を見回りながら、培養土の量が少し多すぎる(または少なすぎる)などや、花苗を植えるバランスをアドバイスしてくださいました。

材料費は一鉢2500円でしたが、花のまちづくり補助金の一部を活用させていただき、参加者の自己負担を2000円に抑えて、実施することが出来ました。



皆様のお力添えのおかげで年度替わりの前に、さつぱりときれいにし、気持ちよく新年度を迎える準備ができました。お忙しい中をご協力くださった皆様、本当にありがとうございました。

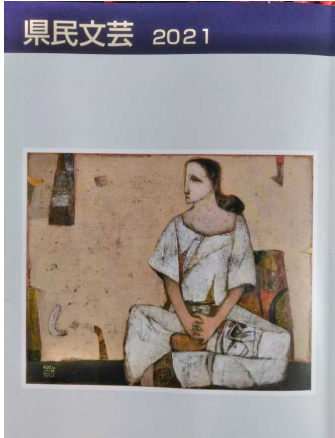
当日は、二十二名の皆様に協力していただき、和室の押し入れの中や大会議室の椅子倉庫の中、窓のガラス拭きや換気扇の掃除、スリッパケースを移動して裏側の掃除など、普段は行き届かない場所の掃除をすることができました。

三月十三日(日)の午後、年度末の大掃除を行いました。

公民館大掃除
ご協力ありがとうございました



優秀作品が掲載された
県民文芸2021の表紙



県民文芸に掲載された
萩原さんの詩「あした」を
下欄に転載します。

やまなし県民文化祭(2021)で 最高位の県民文化祭賞を受賞

山梨県内最大の文化の祭典として、「ときめき・感動・くらしに文化」をテーマに掲げて実施されたやまなし県民文化祭。

20回の節目となる昨年のやまなし県民文化祭の文学部門には、7つのジャンルに、196名の方々から計235の作品が寄せられたそうです。

その内の詩の部門で、萩原満治さんの「あした」と題する詩が最高位の県民文化祭賞に輝きました。

これについては、2月23日の山梨日日新聞の文化欄で報道されましたので、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、改めてこの紙上でご紹介します。本当におめでとうございました。

奥野田公民館利用者の皆様の活躍
その一部をご紹介します

あした

十二月十日

メカロポリスの住人は
太陽を見失っている
とろり眠る

老婆の陽だまりは
どうの昔にない

子どもたちは

ユーチューブおかずに
LEDの食卓を囲む

時代は
罰ゲームのように

私たちの日常を奪っていった
つんのめりそうな今日
その先に 明日が来るのか

北風に抗って

冬枯れの街路樹が
美しいシルエツトを落としている
ざらつく樹皮の内側には

逞しい細胞が
びっしり詰まっている

結氷した湖も
素晴らしい

凍てついた水中で
すべてのたましいが
透明になつていく

本当のところは
僕たちも

僕たちの体内に
明日を孕んでいる

行く末がどうあろうと
僕たちは僕たちの五体に
明日を捉えている
ある者は それを脳内に結晶させ
ある者は 臓腑の内に
明日を見出す
未来を子宮外に妊娠した者もいる
それらが徐々に形を整えつつある今
明日はいつたい
どこから どのように
生まれてくるのか
満足いくまで
僕は確かめていたのだ
それこそ 僕の生の理由だ

樹の内に 氷の中に
新しいたましいが宿り
今日の太陽に
明日のお天道様が隠されている
そしてまた 人間の中にも
未来の何ものが内包されて
人々は今
威厳に満ちている

選評の一部 (スペースの関係で一部を紹介)

冒頭の三行から緊迫感のある独自の修辞法と構築力でコロナ禍の世界を描いています。

(中略)

ビギナーの方たちには難しく感じられるかもしれないませんが、何度も読み返すと、じつに味わい深く比喩の効果を学べる作品であることに気づかれるでしょう。

甲州市ふれあい作品展

水彩画教室の皆様活躍

甲州市のふれあい作品展が開催され、奥野田公民館の水彩画教室で活動されている皆さんが作品を応募し、勝沼市民会館に展示されました。

作品を応募したのは金井みね子さん、相川よし美さん、萩原満治さん、窪田明さんです。

展示会の様子は、勝沼のCATVで放映されたそうです。

その中の窪田明さんの作品が、日本画部門(墨彩画)で、山梨県シルバー作品展選出作品に選ばれ、甲府で開催される山梨県シルバー作品展で展示されることになりました。

これらの作品の写真是、手元にないため紹介できませんが、今年の公民館祭りには展示していただけたらと思いますのでお楽しみに。

県民文化祭 川柳の部

萩原満治さんの川柳作品は、県民文化祭賞に次ぐ優秀賞に選出されました。
優秀賞は八名が選ばれ、その第七席でした。
萩原さんの六句のうち三句を左に紹介します。

玉の汗拭き拭き土とする会話
まあまあと注がれた酒が棘を抜く
見舞客どこか笑顔が無理してる

退任にあたって

奥野田公民館長 廣瀬清和

三寒四温の時を経て、いよいよ春本番の季節を迎えました。この冬は例年よりも寒く感じましたが、二月には梅が咲き始め、福寿草の花も春近しと告げていました。

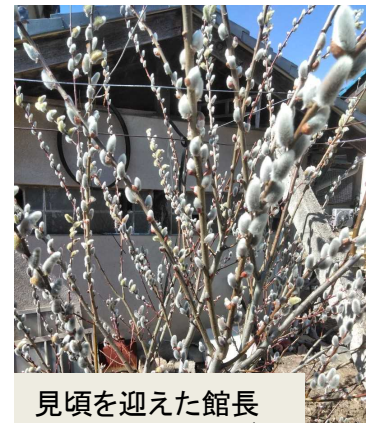
地域の皆様がこの「公民館だより」をご覧になる頃には桃の花も咲き始め、春本番を迎えていることと思います。
過ごしやすい季節となる一方、お勤めの方には、年度替わりの慌ただしさもあり、農家の皆様には、農作業も忙しくなり始める時期となりました。
さて、私の公民館長の任期も二年を終え、退任の希望を奥野田の区長会に伝えて後任を探していただきました。後任者が決まっ

たため、この三月末をもって退任させていただきますこととなりました。例えば、コロナ禍の到来とともに館長となり、感染症対策の徹底を第一に努めてきた二年間で、公民館事業の大きな柱の一つである館外研修を二年続けて中止せざるを得なかったことや、童謡フェスティバルの中止に伴い、童謡を歌う会の開催を見送ったことなど、心残りもあります。公民館祭りは展示中心でも開催できたこと、ほぼ通年で開催できた「川柳教室」、また、好評であった「夏休み子供粘土細工教室」や「カルトナー・ジュ教室」の開催などにも取り組むことができました。

これもひとえに、多忙な中でも公民館活動に心を寄せてくださ

った皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

今後は、側面的に公民館活動に協力させていただきたく所存でおります。改めて皆様方のご支援・ご協力に感謝申し上げます。館長退任の挨拶とさせていただきます。



見頃を迎えた館長自宅のネコヤナギ



川柳教室

令和三年度最後となる三月の川柳教室は、三日の木曜日に開催しました。当日は四名が欠席となり、講師の田口先生を含めて六名の参加で、少し寂しい会となりましたが、欠席でも句を寄せてくれた方もいました。「三才・五客の句と「十秀」の句は左記の通りです。いつも通り題詠句と自由吟に分けて、講師(選者)の田口先生(雅号は「裕人」)から、各自

が持ち寄った句の選と選評をいただきました。撰の後、当日のお題の「身」に関わって、先生が持参したプリントをもとに、「憂き身をやつす」について、「憂き身」とはどんな身のことか、また「やつす」の意味について解説していただきました。また、『甲斐野』の三月号から、先生が撰をされた句の紹介と、題が熟語の場合は類語を調べる」と作句しやすくなる等のご指導を受けました。

題詠句 お題「身」

自由吟

- ・逆風に闘争心が身構える
- ・身勝手も直らぬくせの一つとし
- ・成人日心身共に大人びる
- ・寒くても我が身の為とウオーキング
- ・方丈に納まりきらぬ身は一つ
- ・身と心どちらにも私向かう春
- ・煮崩れて味を問われる夫婦鍋
- ・断捨離と決めても未練断ち切れず
- ・成人日振り袖着付け会場へ
- ・ウオーキング白い山並み八ヶ岳
- ・脅威増すロシアの暴挙オミクロン
- ・白菜の芯の白さにだんなほめ
- ☆悦びは身近にあった夫婦箸
- ☆同好の花が楽しい趣味の道

- 題詠 十秀の句
- ・身上の根気こだわり薄れゆく
 - ・お互いに我が身を守るコロナの禍
 - ・お日さまの下で干しイモ身がしまる
 - ・渾身の儀打を放った元四番
 - ・よい年を身の程知らずで生きてゆく
 - ・駅伝のタスキ渡して身はつかれ
 - ☆衣も食も歳にならつて身に合わず
- 自由吟 十秀の句
- ・ふきのとう初物の味春の味
 - ・空覆う雲の下咲く雪の花
 - ・だつこした可愛い孫は子供連れ
 - ・手作りをまねて別物ご愛敬
 - ・新春の初売りコロナ人まばら
 - ・しがらみを解き放ちたいシヤボン玉
 - ☆貧と富と両極端の青い星

来月のお題は「近」です。

4月の予定

4月 6日(水)	19:00~	民謡「梅の香」
4月 7日(木)	13:30~	川柳教室
4月12日(火)	13:30~	フラサークルアロアロ
4月12日(火)	19:30~	コールマミー塩山
4月20日(水)	19:00~	民謡「梅の香」
4月21日(木)	13:30~	水彩画教室
4月26日(火)	13:30~	フラサークルアロアロ
4月26日(火)	19:30~	コールマミー塩山

※左記は、3月15日時点の予定です。
 ※公民館の利用予約は、できるだけ前月の下旬までにお願います。